Living the LOTUS
Buddhism in Everyday Life
11
2017
VOL. 146

開祖随感

生かされている恩返し

仏教の教えの基本が、すべての存在は他との関係(縁)なしにはありえない、という縁起観であることは、みなさんもよくご存じのとおりです。その教えをどう実践に移していくかです。

まず、自分が今日一日を無事に過ごせるのはだれのお陰であるのか、どれだけの人の助けをいただいているか、その縁起を知ることが報恩行(ほうおんぎょう)の出発点です。

私たちは仕事が順調に進んでいるときには、すべて自分の力、自分の努力の結果だと思い込んで得意になっているのですが、それが、どれだけ多くの人の後押しによってなっているか、毎日、振り返ってみる習慣をつけてしまうことが大切です。朝夕の経典読誦のご供養は、その行の一つなのですね。

いつも、まわりの人たちへの感謝を忘れずに、その感謝の気持ちを素直に表わしていく生き方と、自分を過信して得意になったり、努力が報われないと恨んだりする生き方とでは、天地の開きが出てしまいます。

先祖供養も、親孝行も、菩薩行も、すべて今日(こんにち)の自分をあらしめているものへの恩返しの行なのです。

(『開祖随感』9, P. 266-267)

Living the Lotus
2017年11月号 (Vol.146)

【発行】立正佼成会 国際伝道部
〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F
Tel: 03-5341-1124
Fax: 03-5341-1224
E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 水谷庄宏
編集チーフ: 金尾江利子
校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の経典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。
現在は庭野日鑛会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる〜生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

会長
法話

親孝行と菩薩行

立正佼成会会長　庭野日鑛

親孝行に「手遅れ」なし

両親を敬い、父母によく仕えることを「孝を行なう」と書いて「孝行」といいます。そして、「孝行のしたい時分に親はなし」のことわざが示すように、親孝行は両親が存命のうちに、と考えるのが一般的です。

しかし、多くの人の場合、両親が元気なうちに孝を尽くすことが、なかなかできません。気恥ずかしさもあるでしょうし、心のどこかに「ずっと元気でいてくれるはず」という願いにも似た思いがあるからかもしれません。それで、亡くなって初めて親の恩の大きさを痛感し、生前の親不孝を悔やむ人が少なくないのです。

ただ、私は親孝行をするのに、けっして手遅れということはないと思うのです。

私は以前、本誌のこのページで、親やご先祖さまに「安心してもらえるような生き方をしよう」と申しました（「親孝行と仏道」／2011年7月号）。それをより具体的にいえば、暮らしの一つ一つに、ていねいにとりくむ。日々を明るく、楽しくすごす。人に喜ばれるようなことを誠実に行なうことです。娘や息子がこのように生きていれば、いまは亡き両親も、安心してくれるのではないでしょうか。そのような意味で、親孝行をするのに手遅れということはないのです。元気に暮らす両親にとっても、当然のことながら、わが子が誠実に生きて、まわりの人に喜ばれることは何よりもうれしいはずです。

もちろん、お墓や仏壇・ご宝前へのお参りは、それ自体が親孝行です。そして、それは親や先祖に手をあわせるからという理由だけでなく、その姿勢がすでに「自分の命の根源に感謝できる人間」に成長している証だからです。

「孝は百行の本」

開祖さまは、法華経に示された教えを身近な行ないにあてはめ、「親孝行」「先祖供養」「菩薩行」の三つが大事と説き示されました。先の親孝行の受けとめ方でいえば、親孝行は先祖供養とひとつながりですから、本会の教えは「親孝行」と「菩薩行」に集約されるといっていいのかもしれません。

では、その菩薩行とは何か。それは、布施・持戒・忍辱など仏さまの教えに随って、人を思いやり、周囲の人に喜ばれるような行ないのことです。見方を変えれば、人の喜びを自分の喜びにする人を菩薩といい、その菩薩の心を支える杖は、生かされていることへの感謝といえましょう。

そこで、先の親孝行のとらえ方をもう一度ふり返ってみましょう。日々をていねいにすごし、誠実に、人に喜ばれるような生き方をすること――この親孝行の具体像を菩薩行と重ねると、親孝行も先祖供養も菩薩行も、根本においては一つということがわかります。そして、これらすべてに共通するのは、いま命あることへの「感謝」です。

「孝は百行の本」という言葉があります。「孝行はすべての善行の根本となる」という意味ですが、その孝行も生んでいただいた両親への感謝が基本ですから、命への感謝がすべての善行の土台となり、それが善なる世界を創造する力になると教える言葉なのかもしれません。

十二月を一年のスタートとするのが本会の習わしですが、まもなく創立八十周年を迎える年に入ります。今月は本会で大事にしている「親孝行と菩薩行」についてお話ししました。このことをとおして自分の命の原点を見つめ直し、あらためて自身の信仰のあり方をふり返る機会になればと思います。そのうえで、一人でも多くの人に仏法をお伝えするという菩薩行の基本をかみしめ、生きる喜びを自他ともに味わわせていただきましょう。

（『佼成』2017年11月号）

Spiritual Journey

感謝の人生

ロンドン法座
マーカス・スタッフ

この体験説法は、2017年4月、花まつり式典で行われたものです。

私は10代の頃、仏教に興味を持ち始めました。外部の救済者だけを信じて身を任せる信仰ではなく、教えを守り実践する自分自身に信を置く仏教に心を惹かれたのです。ティナ・ターナーの半生を描いた映画を観た時、初めてお題目を唱える声を聞いて法華経に関心を持ち、法華経がその後の私の人生の旅の道連れとなり、やがてその旅は私を立正佼成会へと導いてくれました。

私は、1999年に購入した日蓮仏教に関する本の中で、初めて立正佼成会の存在を知りました。その数年後、私は佼成出版社から発刊された英訳『法華三部経』を書店で見つけ、それまでの法華経への関心に加え、立正佼成会について書かれたものを読んだことで、佼成会ついてもっと知りたいと思うようになりました。そして、ここイギリスにも佼成会の拠点があることを知り、カーディフの近くにも拠点があるかどうか知りたくて、オックスフォードの拠点にEメールを送りました。すると廣田めぐみさんからすぐに返信があり、ウェールズ地方にはまだ拠点がないため、佼成会についてもっと知りたければ、オックスフォードにいらしてくださいとお誘いをいただいたのです。

初めて廣田さんとお会いしたあと、私はオックスフォードとセント・オールバンズの法座に定期的に参加するようになり、2004年には自宅のご宝前にご本尊勧請のお手配をいただきました。元来ひどく内気な性格のため、私は最初の頃は、ほとんど法座でお話しをすることができませんでしたが、サンガの皆さんの応援と励まして、しだいに自信が持てるようになりました。今でも100パーセント自信があるわけではなく、もともと話し上手でもありませんが、それでも自分の殻を破って人前で話をし、仏さまの教えをお伝えできるようになりました。

私が体験させていただいたことで大切なのは、うつ病に苦しんでいた私が仏さまの教えにどう支えられてきたかということです。私は17歳の時、うつ病と診断されました。うつ状態が数ヶ月から数年間続き、そのあとで大丈夫そうに感じられる期間を経て、再びうつ状態に戻るということの繰り返しでした。うつ状態の期間は次第に短くなり、良好な状態が長く続くようになるだろうとのことでしたが、それでも私のうつ病は一生治らないだろうと言われました。

そんな時、私は幸運にも2006年に東京のご本部で行われた第3回世界サンガ結集大会に参加する機会をいただきました。そこで、私はロサンゼルス教会の藤田祐子さんの体験説法を聞かせていただいたのです。車椅子の藤田さんの姿を大聖堂で拝見し、信仰体験を聞かせていただいて、私は深く感動しました。脳腫瘍が数か所にできたため何度も手術を繰り返し、そのために事業をたたまなくてはならないという苦難を経験されながらも、藤田さんは教えを通して強さを身に着け、深刻な病にもかかわらず物事を前向きにとらえ、人生に感謝されていました。私はその時、藤田さんにできたことは、私にもできるに違いないと思い

7月に行われた欧州練成会で挨拶をするマーカス・スタッフさん

ました。藤田さんに個人的にお会いしたわけではありませんが、私はその日彼女が体験説法をしてくださったことに心から感謝しました。

大聖堂での出会いによって、私のうつ病がマジックのように消えたわけではありません。しかし、その出会いによって私は病とともに生きる力をいただきました。「諸行無常」などの教えを通して、暗闇の時間も永遠には続かないことを知り、我慢できるようになりました。また良い状態も永遠ではないことを知り、大切にするようになりました。そしてパートナーや、家族、友人、そしてサンガの皆さんなど、私を支えてくだっている方々に感謝ができるようになったのです。

また、立正佼成会の教えのおかげさまで、今は亡き家族のことを常に想える自分にならせていただきました。お盆や、春と秋のお彼岸の法要に家族を誘って参加していただき、そのあとで私が生まれる前やまだ幼い頃に亡くなった家族について語り合い、思い出を共有することができました。そのことで、私自身がまるで亡くなった人たちのことを前から知っていたかのような気持になれました。それからは、家族で祖父母のお墓参りをし、掃除をしたり花やお線香を供えてお祈りするようになりました。そうした出会いや、一緒に教えを体験することを通して、母も立正佼成に入会させていただくことになりました。

鐘のお役をするスタッフさん（左手前）

さらに私は、父方の親族と親しくなることもできました。私が12歳の時、両親は問題の多い結婚生活の末に離婚しました。両親は再婚同士で、二人にはすでに前の結婚でできた子どもたちがいました。私は父を敬遠していたため、両親の離婚後は父や父方の親族と連絡を取り合うこともなく、苗字も母の旧姓に変えていました。ご本尊と総戒名の勧請のお手配をいただいたあと、私は先祖供養のために父方の姓も総戒名に入れることを勧められました。はじめは気が進まなかったのですが、両親がいなければ私は今ここにいないことを教えていただき、ともかくそのことは両親に感謝しなくてはいけないと思えるようになりました。父方の先祖をわが家のご宝前に祀らせていただいたことがきっかけとなり、母の連れ子で離婚後は会っていなかった兄が、父と先妻との間の子である兄といまでも連絡を取り合っていることを知りました。それをきっかけに、私は父方の兄と再び会うようになり、その後父とも再会しました。父と会ったことで和解できたわけではありませんが、それでも互いに笑顔で別れ、のちに私は父方の祖父母のお戒名を申請し、祖父母や父方の親族の戒名を加えて年回供養をさせていただけるようになりました。

立正佼成会に出会えたことは私にとって本当に幸運でした。青年部の世界サンガの集いや日本で行われたリーダー教育に参加させていただき、また立正佼成会の英国拠点を代表してウェールズ仏教協議会をはじめ諸宗教対話活動に参加させていただくことで、たくさんの素晴らしい人々、菩薩たちに出逢いました。今では皆私の友人であり、法によって結ばれた家族です。立正佼成会の活動を通して多くの学びの機会をいただき、またサンガの皆さんのご教導と支えをいただいて、人として成長できたことに私は心から感謝しています。

いつの日かウェールズにも佼成会のサンガの輪が広がっていくこと祈念し、今後もさらに教えをお伝えしていくことをお誓いいたします。

Childcare lifeline

子どもが物を投げるのをやめさせたいのですが

Q １歳７か月の長女が、おもちゃなど、手にした物を投げるので困っています。そのつど叱るのですが、あまりガミガミ言うのもどうかと思います。反面、叱らないでいると、投げる行為がエスカレートするのでは、という不安もあります。どの程度叱っていいものか加減が分かりません。

A １歳7か月頃の子どもは、手足もよく動くようになり、行動も大きくなります。物を投げる行為も、決して乱暴で投げているのではありません。いろいろ動くことが、うれしくてしかたがないのです。ただ、手加減が分からないだけなのです。

お子さんが物を投げたときは、ガミガミと叱るのではなく、「これは、だいじ だいじだよ！かわいい かわいいしましょうね！」とお母さんの「心」でしつけることが大切です。

この時期の子どもは「良いこと、悪いこと」を「快いこと、嫌なこと」という感情で学んでいきます。快いことは進んでするようになり、嫌だと感じたことはしないようになります（これを「快苦の法則」といいます）。

お子さんがいけないことをしたときには、「ママ悲しいな」と言って、心からとても悲しそうな顔をする。あるいは、怖い顔をして「これはだめなのよ」と言う。ぶったりつねったりするのではなく、お子さんの手を軽くポンとたたいて「合図」をするのもいいでしょう。

逆に物をやさしく扱っていたら、満面の笑顔で、「○○ちゃん、やさしい子だね！ ママうれしいわ」と喜んであげるといいでしょう。大事なのは、しつけのためにそうした言葉を使うのではなく、本心から、「本気でそう思うよ」という情愛に満ちた顔と言葉で繰り返しお母さんの「心」をお子さんに伝えていくことです。幼児期のしつけのポイントは、「根気よく何回も何回も……」です。

また、さわって欲しくないものは目に触れない所に置いておく工夫もしていきましょう。

（回答:東京家庭教育研究所）

協力：東京家庭教育研究所
〒166-0012　東京都杉並区和田1-5-12
電話 03（3381）0705
FAX 03（3381）0723
http://www.kateikyoiku.jp/

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に応えています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

よい出会いを重ねる

毎日お子さんの成長のために一生懸命にふれあっている素晴らしいお母さんですね。

1歳7か月では、まだ言葉を話すことができず、言って聞かせても容易に理解する時期ではありません。そんな時は、先の回答にもあったように、「快苦の法則」にのっとって繰り返しお子さんに伝えていくほかはありません。その時大事なのが、お子さんとよき出会いをしていくということです。

仏教では、出会いのことを「縁起」と言います。「縁起とは……他との関係が縁となってものごとが生起することです。」(『人生心がけ』p. 272)

私たちが生きていくこの世界は、一瞬一瞬の変化のつながりです。「よい出会い方、つまり、縁との出会い方がよければよいほうに変わり、反対に、縁との出会い方が悪ければ悪いほうに変わるというように、変化は、厳然たる法則にのっとっています。」(『人生心がけ』p. 36～37)

お子さんが物を投げるたびに、心を込めて「これはだいじよ！かわいい、かわいいしましょうね」と繰り返し伝え、よき出会いを重ねていきましょう。お子さんには、お母さんの喜んでいる顔が何よりの心の栄養です。物を大事にできた時には、大いに喜びを伝えていきましょう。

（立正佼成会習学部監修）

Please give us your comments!

Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。
お問い合わせは、以下のＥメールアドレスにお願い致します。
Ｅメール：living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Director's Column

両親に安心してもらえるよう生きる

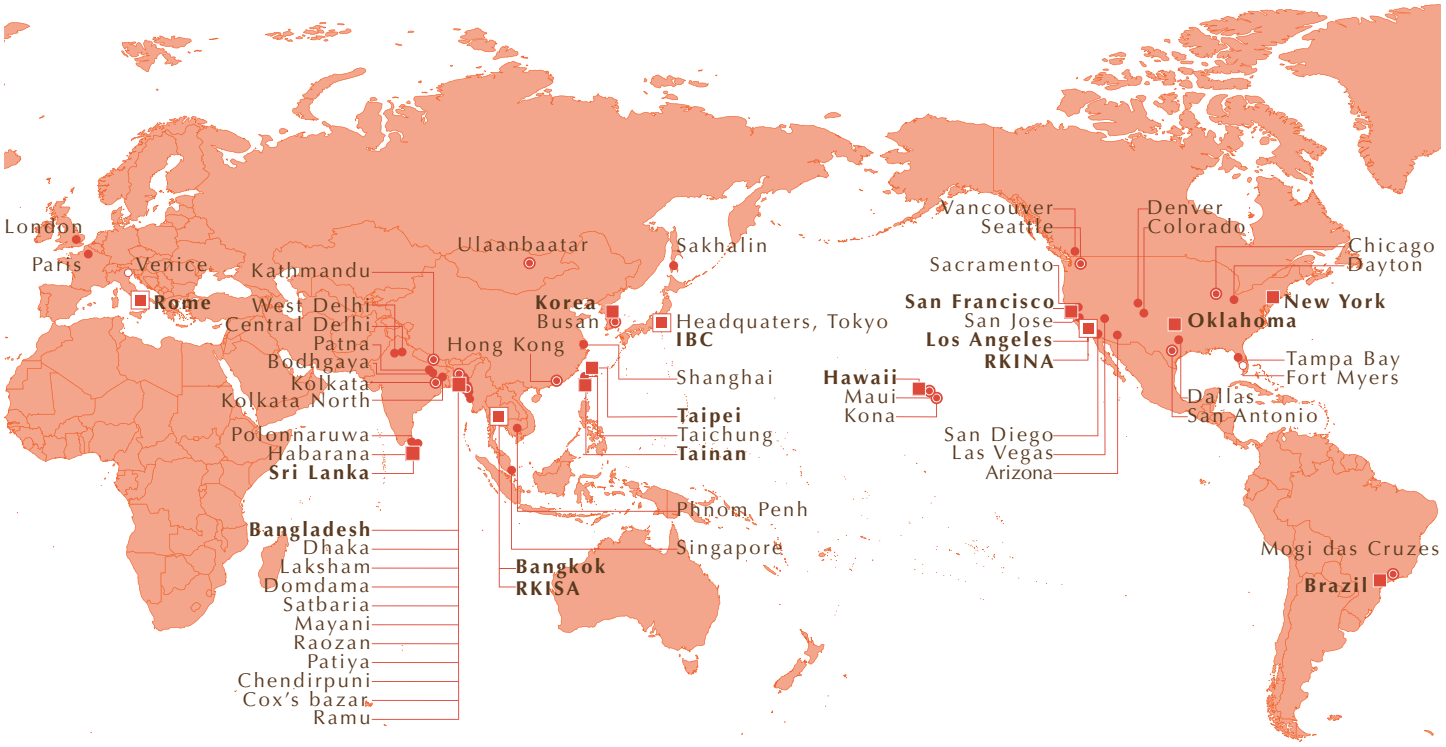
「本当の親孝行は親が亡くなってからであり、法華経に出会い菩薩行をさせていただき、人さまに喜ばれる人になるのが本当の親孝行です。」

11月1日、海外サンガを代表して、韓国教会の成（ソン）支部長さんが大聖堂でお説法をされました。成支部長さんは1歳の時お父さまを亡くされ、お母さまが家計を支えるために都会に働きに出たため、祖父母の家に預けられました。学生時代にお母さまと一緒に暮らし始めましたが、いつもたいへん反抗的だったそうです。27歳の時に結婚し、その後平成7年に佼成会に入会しました。2年前、介護をされていたお姑さんが亡くなられ、その4か月後に、実家のお母さまが突然亡くなられたのです。「一生を自分に捧げてくれたお母さんにこれからは親孝行をさせていただこう」と思った矢先のこと。心から後悔し、自分を責めました。そんな時、冒頭の会長先生のお言葉に救われたそうです。

「尊い人間に生まれながら、どうしようもない人生をおくっていたかもしれない自分が、佼成会に巡り会い、人格完成を目指し、『まず人さま』を実践できる最高の人生をいただきました。」成支部長さんは今の心境を喜びで語られました。今は亡きご両親さまは、娘さんの立派な生き方に安心し、誇りに思っていらっしゃるに違いない。私もいまは亡き両親に安心してもらえるような生き方をしたい。そう思いました。

国際伝道部長

水谷庄宏



RISSHO KOSEI-KAI INTERNATIONAL BRANCHES

開祖さま生誕会

11月15日は開祖さま生誕会の日です。
大聖堂で行われる式典の模様を、インターネットを通じて日本語で海外の各拠点に配信致します。
どなたでも、どこからでもご覧になることができます。
みなさんのご参加を心よりお待ちしております。
ご不明な点は、国際伝道グループ中村までお問い合わせください。

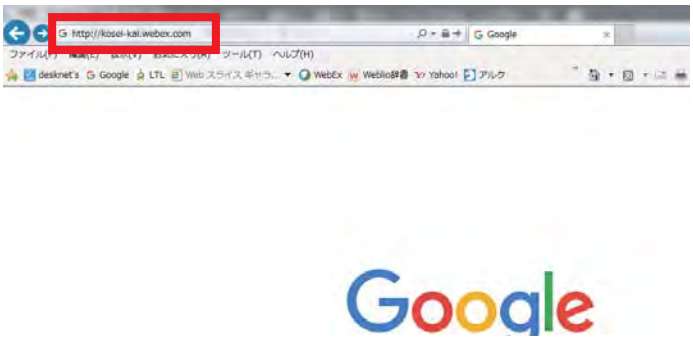
中村：etsuko.nakamura@kosei-kai.or.jp

配信日時
11月15日（水）
9:00～(日本時間)

閲覧パスワード
「birthday」

式典配信の閲覧方法

1. Internet Explorerから、http://kosei-kai.webex.comへアクセスします。



2. このサイトの「ミーティング一覧」の中に、閲覧する式典の「参加」をクリックします。

3. 名前・メールアドレス・パスワードを入力してから、「参加」をクリックします。
セキュリティのダイアログが表示された場合は、発行元が「Cisco WebEx LLC」であることを確認してから、「はい / 許可する / インストールする」等をクリックします。

4. 「主催者が統合型VoIPセッションを開始しました。参加しますか？」と表示され、「はい」をクリックすると、音声が聞こえるようになります。
大きな画面でビデオをご覧になりたい場合は、ウィンドウの中のビデオパネル画面右上のボタンでフルスクリーンにかえることができます。

5. 問題や質問がありましたら、画面右側の「Chat」をクリックして、チャットを通じてお知らせください。

Rissho Kosei-kai
Overseas Dharma Centers 2017

Rissho Kosei-kai International
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 *Fax:* 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)
2707 East First Street Suite #1 Los Angeles CA 90033 U.S.A
Tel: 1-323-262-4430 *Fax:* 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center
28621 Pacific Highway South, Federal Way,
WA 98003 U.S.A.
Tel: 1-253-945-0024 *Fax:* 1-253-945-0261
e-mail: rkseattlewashington@gmail.com
http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio
6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.
P.O. Box 692148, San Antonio, TX78269, USA
Tel: 1-210-561-7991 *Fax:* 1-210-696-7745
e-mail: dharmasanantonio@gmail.com
http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay
2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.
Tel: (727) 560-2927 *e-mail*: rktampabay@yahoo.com
http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii
2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.
Tel: 1-808-455-3212 *Fax:* 1-808-455-4633
e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center
1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.
Tel: 1-808-242-6175 *Fax:* 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center
73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona,
HI 96740 U.S.A.
Tel: 1-808-325-0015 *Fax:* 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles
2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
Tel: 1-323-269-4741 *Fax:* 1-323-269-4567
e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco
1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.
Tel: 1-650-359-6951 *Fax:* 1-650-359-6437
e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento
Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York
320 East 39th Street, New York, NY 10016 U.S.A.
Tel: 1-212-867-5677 *Fax:* 1-212-697-6499
e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago
1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056 U.S.A.
Tel : 1-773-842-5654 *e-mail:* murakami4838@aol.com
http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers
http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma
2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112 U.S.A.
Tel & Fax: 1-405-943-5030
e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver
1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204 U.S.A.
Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton
425 Patterson Road, Dayton, OH 45419 U.S.A.
http://www.rkina-dayton.com/

Risho Kossei-kai do Brasil
Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,
CEP 04116-060 Brasil
Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377
Fax: 55-11-5549-4304
e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Risho Kossei-kai de Mogi das Cruzes
Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,
CEP 08730-000 Brasil
Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei
4F, No. 10 Hengyang Road, Jhongjheng District,
Taipei City 100 Taiwan
Tel: 886-2-2381-1632 *Fax:* 886-2-2331-3433
http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung

Rissho Kosei-kai of Tainan
No. 45, Chongming 23rd Street, East District,
Tainan City 701 Taiwan
Tel: 886-6-289-1478 *Fax:* 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
Tel: 82-2-796-5571 *Fax:* 82-2-796-1696
e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
Tel: 82-51-643-5571 *Fax:* 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong
Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,
North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar
15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960 *e-mail:* rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin
4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma
Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949 *e-mail:* roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK
Rissho Kosei-kai of Venezia
Rissho Kosei-kai of Paris

International Buddhist Congregation (IBC)
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 *Fax:* 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp http://www.ibc-rk.org/

Rissho Kosei-kai of South Asia Division
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 *Fax:* 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax*: 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division

Rissho Kosei-kai of Central Delhi
224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi
66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka, New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata
E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center
Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu
Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh
#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center
Rissho Kosei-kai of Singapore

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218 *e-mail:* info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka
House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani
Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya
Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama
Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar
Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria
Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham
Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan
West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni
Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu

Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka
No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 *Fax*: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Habarana
151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Other Groups

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai